

海軍公報

第三千二百六十六號

大正十二年九月一日(土)

海軍大臣官房

○通牒

官房第三〇四四號

軍艦比良及保津ト内地郵便局間ニ郵便物閉塞交換開始
相成候條本邦ヨリ發送ノ郵便物ハ左記ノ通御取計相成
度

大正十二年九月一日

海軍省副官 藤田尚徳

記

- 一、信書肩書ハ「長崎郵便局氣付」トスルコト
- 一、宛名左側ニ「軍艦郵便」ト朱書スルコト
- 一、料金ハ内地ノ料金ニ依リ本邦ノ切手ヲ貼用スルコト

○辭令

○大正十二年九月一日

若田中 外次
田中 愴夫
百田 定次
野中 留吉
木下 幾次

(各通)

任海軍豫備一等兵曹

佐々木	永富	篠崎	玉井	西原	高村	稻垣	岡田	上原	菅原	和泉	大藤	加藤	市田	森田	細川	石川
長吉	利夫	盛盛	盛盛	盛盛	盛盛	盛盛	盛盛	盛盛	盛盛	盛盛	盛盛	盛盛	盛盛	盛盛	盛盛	盛盛
勝吉	勝吉	勝吉	勝吉	勝吉	勝吉	勝吉	勝吉	勝吉	勝吉	勝吉	勝吉	勝吉	勝吉	勝吉	勝吉	勝吉

海軍公報 第三千二百六十六號 大正十二年九月一日

八六五

(各通)

長野 榎太雄
尾下 重義
宮本 武雄
岡本 角一
池内 勝富
増田 正一
木下 二郎
奈良 茂郎
御手洗 初太郎
北村

任海軍豫備一等機關兵曹

海軍造船大佐 玉澤
造船監督官兼造兵監督官在職中造船造兵監督長ノ職務ヲ執行スヘシ(海軍大臣)

海軍經理學校ニ於ケル法學通論及國際公法教授囑託

東京商科大学教授 中村 進午
自今報酬月額六拾圓ヲ贈與ス

海軍豫備大尉 山口 操
水路部ニ於ケル編修事務ヲ囑託ス
但報酬月額八拾五圓ヲ給シ部内限り奏任官待遇トス(以上海軍省)

○雜款

○賜艦進水
浦賀船渠株式會社ニ於テ建造ノ第八賜艦本日午前八時進水セリ
○郵便物發送先

軍艦扶桑宛
九月六日迄ニ到着見込ノモノハ
其ノ後ハ
山口縣山宇

○軍艦千早行動豫定
着
九月 發
九月 四日
十月 八日

○特務艦尻矢行動豫定變更(七月二十五日)
本欄参照
地名
八月二十八日 著
九月 十一日 發
九月 十二日

○佛艦行動豫定
一、「コルマール」
九月 初 大連、旅順
九月 末 仁川、次テ長崎
十月 十日 長崎發一釜山、宮津、小樽、函館、
松島ヲ經テ
十一月 初 横濱著一次テ神戸、宮島、鹿兒島
二、「アルゴル」
九月五日頃 長崎著一次テ敦賀、函館、横濱、
名古屋(熱田)、神戸、門司ヲ經テ上
海へ

○米艦行動豫定
亞細亞艦隊所屬驅逐隊二隊及母艦「ブラックホーク」
九月二十一日ヨリ十月八日迄神戸及大阪ニ各半數宛碇泊シ約一週間ニテ交代ス

(部内限ナシ)

(終)

海軍公報

第三千二百六十七號

海軍大臣官房

大正十二年九月十一日(代)

○令 達

官房第三〇七五號

震災救難作業ニ従事スル艦船部隊其ノ他ニ在リテハ該作業開始ノ日ヨリ海軍戰時給與規則第十二條ニ依リ避難民等ニ適宜ノ糧食ヲ給スルコトヲ得

前項ニ依リ糧食ノ給與ヲ行ヒタルトキハ其ノ人員、食敷、品名、數量ヲ事後取纏メ海軍省軍需局長ニ通報ス

大正十二年九月十一日

海軍大臣 財 部 彪

官房第三〇七六號

震災地ニ在ル艦船及同地域ニ派遣セラレテ救難作業ニ従事スル艦船ノ乗員ニハ戒嚴布告ノ日又ハ初メテ戒嚴施行地域ニ到着ノ日ヨリ最後ニ戒嚴施行地域ヲ離ルル日又ハ戒嚴解除ノ日迄海軍給與令施行細則第十九表ノ

二本邦支那亞細亞露領所定金額五割ノ食料ヲ増給ス

大正十二年九月十一日

海軍大臣 財 部 彪

官房第三〇七七號

震災地ニ在ル艦船、部隊、學校、病院勤務ノ下士官兵及同地域ニ派遣セラレテ救難作業ニ従事スル艦船、部隊ノ下士官兵ニハ戒嚴布告ノ日又ハ救難物件搭載開始ノ日ヨリ最後ニ戒嚴施行地域ヲ離ルル日又ハ戒嚴解除ノ日迄海軍戰時給與規則第十一條ヲ適用シ一日二十五錢以内ニ於テ副食物ヲ増給ス但シ現品ヲ得ルコト困難ナル場合ニ於テハ右日額ヲ金給スルコトヲ得

大正十二年九月十一日

海軍大臣 財 部 彪

○辭 令

海軍公報 第三千二百六十七號

大正十二年九月十一日

八六七

海軍少佐 柳原 信男
第八驅逐艦裝員ニ要スル經費支拂ノ爲メ臨時資
金前渡官吏ヲ命ス(海軍省經理局支出官)

○ 雜 款

九月十日練習艦隊司令官磐手ヲ率ヒ清水着一時將旗ヲ
撤シ司令部ヲ清水陸上ニ移ス

(部内限ナシ)

2137

海軍公報

第三千二百六十八號

大正十二年九月十二日(水)

海軍大臣官房

○令 達

官房第三〇八五號

震災救護及戒嚴費支出規程左ノ通定ム

大正十二年九月十日

海軍大臣 財 部 彰

震災救護及戒嚴費支出規程

第一條 震災救護及戒嚴費ノ支出ハ左ノ區分ニ依ル

- 一、航海加俸
救護ノ爲特ニ出動スル豫備艦船ニ要スル分
- 二、艦營費
救護ノ爲特ニ出動スル豫備艦船ニ要スル燃料、
消耗品、保管運搬費並ニ救護任務ニ從事スル一
般艦船部隊ニ要スル運搬費、舟車馬類備費
- 三、患者費
救護ノ爲特ニ出動スル豫備艦船ニ要スル分
- 四、機密費
特命ニ依リ支出ヲ要スル分

五、雜費

救護ニ關シ特ニ要スル出張旅費、陸應ニ於テ使
用スル舟車馬類備費、通信費、消耗品、筆紙墨
文具等ノ雜費

第二條 支出官ニ於テ各目ノ豫算金額ヲ増減更定スル
ノ必要アルトキハ經理局長ノ承認ヲ經ルモノトス但
シ承認ヲ受クルノ暇ナキトキハ支出官ニ於テ決行シ
事後直ニ之ヲ報告スヘシ

第三條 震災救護及戒嚴費ノ支出科目ハ別表ニ依ル
別表

款	項	目	會計科目 電信路費
震災救護及戒嚴費	震災救護費		フツ
		航海加俸	フネ
		艦營費	フナ
		患者費	フリ

海軍公報 第三千二百六十八號 大正十二年九月十二日

八六九

	戒嚴費			フノラ
	機密費			フウ
	雜費			フノ

○ 通牒

經線第三八六號

大正十二年九月十日

海軍省經理局長 深水貞吉

關係廳長殿

現金前渡ニ關スル件

東京市、横須賀市及平塚町ニ於ケル海軍各廳ニ於テ現金ノ支拂ヲナス爲支田官ハ主任ノ官吏ヲ命シ所要ノ經費ヲ當該官吏ニ前渡シ得ル件大藏大臣ノ同意ヲ得タリ

右通牒ス

經線第三八七號

大正十二年九月十日

海軍省經理局長 深水貞吉

關係支出官殿

震災救護及戒嚴費ノ支出ニ關スル件

震災救護及戒嚴費ノ支出ハ九月二日以後事項發生ノ日ヨリ開始スル儀ト御承知相成度

右通牒ス

○ 雜款

○練習艦隊司令部事務所

静岡縣清水町入江受新田百七十五番地

鈴木與平方

(部内限二頁)

海軍公報

第三千二百六十九號

大正十二年九月十三日(木)

海軍大臣官房

○通牒

教育第二三一號

大正十二年九月十三日

海軍省人事局長 山梨勝之進
海軍省教育局長 古川餘三郎

各鎮守府參謀長殿

練習生採用延期ノ件

校舍全焼ノ爲目下募集中ノ左記練習生ハ一時採用延期
ノコトト御了知相成度
右依命申進ス

記

- 一、高等科機關術練習生
- 一、普通科機關術練習生
- 一、高等科電機術練習生
- 一、普通科電機術練習生
- 一、工術練習生
- 一、船匠術練習生
- 一、高等科經理術練習生
- 一、普通科經理術練習生

○辭令

軍艦三笠記念調査會委員長ヲ命ス(請海軍省)
海軍大佐 丸尾 剛

○雜款

○假事務所
海軍經理學校燒失ニ付九月四日ヨリ假事務所ヲ海軍省
内ニ置ク

○郵便物發送先
關東以西方面ヨリ東京所在海軍官公署宛第一種、第二
種通常郵便物ハ從來通小包郵便物書留郵便物ハ江尻郵
便局留置練習艦隊司令部氣付
但シ海軍大學校、海軍軍醫學校、海軍經理學校、海
軍技術研究所及水路部宛ノモノハ海軍省構内ト肩書
スルコト

○海軍公報配付部數
震害ノ爲印刷能力減退ニ付當分ノ間海軍公報配付部數
ヲ各部共(鎮守府ヲ除ク)一部トス

海軍公報 第三千二百六十九號

大正十二年九月十三日

(部内限二頁)

八七一

○艦船所在

初春、初雪、春風

○九月十三日午前十時調
〔品川、横濱、横須賀〕

口長門、日向、陸奥
口金剛、比叡、霧島
接間、八雲、出雲
香妻、富士、夕眼
韓崎
神威、簡見、室戸、野島、膠州
北上
口波風、野風、沼風、驅一
口澤風、峯風、沖風
口灘風、島風、秋風、羽風
口太刀風、夕風、沙風、帆風
口浦波、磯波、水無月、長月、菊月、綾波
口葛、萩、藤、薄
時雨、夕風
口響、有明、如月、神風、吹雪、初霜
掃一、掃二、掃三
貴船丸、代志丸
加賀、安藝、薩摩、三笠
榛名、阿蘇、日進、鳳翔
朝日、武藏、大泊、洲崎、鳴戸、青島
矢風、濱風
驅三、驅五、浦風

海軍公報 第三千二百六十九號

大正十二年九月十三日

八七三

〔石川島〕 驅一二
〔浦賀〕 驅六、驅八
〔館山〕 扶桑、磐手、迅鯨
〔清水〕 土佐、伊吹、澁、胸橋
〔清見〕 明石、劍崎
高崎、早瀬、野間
由良、名取、鬼怒、長良
龍田
梨、驅二
榎、樅、竹
梅、栗
菱、炭、葦
常磐
矢矧

初春、初雪、春風
雄、鷗
口波一、潛波二、口潛一四、潛波一〇、
潛五八、潛三九、潛四〇、潛三八
口伊勢、球磨、多摩、大井
山城、春日、五十鈴、天龍
筑摩
利根、千早
關東、蒲州、石廊、尻矢、若宮
口山風、海風
口潛五七、潛四六、潛四七、口潛三〇、
潛二九、潛二八

【旅順】若葉、潮、朝風、子日

【厦門】杉

【上海】勢多、堅田、岡田

【鎮江】劉馬

【漢口】保津、安宅

【長沙】嶺、柳、檜、桃

【宜昌】伏見

【重慶】鳥羽

【小呂宋】隱戸

【亞港】夕立、夕暮、三日月、白露

【ベトナム】檳榔

【スマタラシ】木會

【南群島】松江

【航海中】

能登呂 (八月二十五日「タラカン」發一吳へ)

比良 (九日宜昌發一重慶へ)

大和 (潮岬附近ヨリ品川沖へ)

横 (五日「ベ」港發一堪察加半島西岸へ)

葵 (十日名古屋發一東京灣へ)

千歲、勝力、鱒津 (十日吳發一東京灣へ)

平戸 (十二日芝浦發一神戸經由吳へ)

【神戶】蓬、蓮、潜五九、潜六八、潜六九、潜七一、潜七二、潜七三

【假屋沖】鹿島、香取、鹿島、香取

【佐世保】鞍馬、生駒、肥前、最上、放島、知床、襟裳、佐多、檜、柿

【長崎】長崎、長崎、長崎

【馬公】松、柏、梅

【鎮海】桂、楓、楠、梅

【野分】白雲、松風、霞、董

【桐】楓、櫻、橘

【野分】白雲、松風、霞、董

【野分】白雲、松風、霞、董

【野分】白雲、松風、霞、董

【野分】白雲、松風、霞、董

【野分】白雲、松風、霞、董

【野分】白雲、松風、霞、董

【野分】白雲、松風、霞、董

【野分】白雲、松風、霞、董

【野分】白雲、松風、霞、董

【野分】白雲、松風、霞、董

【野分】白雲、松風、霞、董

【野分】白雲、松風、霞、董

【野分】白雲、松風、霞、董

【野分】白雲、松風、霞、董

【野分】白雲、松風、霞、董

海軍公報

第三千二百七十號

海軍大臣官房

大正十二年九月十四日(金)

○令 達

官房第三〇九二號

大正十二年九月十四日

海軍大臣 財 部 彪

關係各廳長殿

海軍共濟組合救濟金支給ニ關スル件

今回ノ震災又ハ火災ニ基因シテ死亡シ又ハ負傷シタル共濟組合員ノ救濟金支給ニ關シテハ左記ニ依リ處理スヘシ

記

- 一、官廳構内ニ於テ、又ハ公務外出若ハ公務旅行中死亡シ又ハ負傷シタル者ハ總テ職務上ノ死亡者又ハ負傷者トス
- 二、退廳後死亡シ又ハ負傷シタル者ハ職務外ノ死亡者又ハ負傷者トス

- 三、屍体ヲ發見セサルモ其ノ死亡ヲ確認スルニ足ルヘキ事實アルトキハ責任アル官吏(警察官、市區町吏、員、震災救護委員等)ノ作製セル死亡證明書ヲ以テ死亡診斷書又ハ屍体檢案書ニ代フルコトヲ得
- 四、前項以外ノ事由ニ依リ制規ノ死亡診斷書又ハ屍体檢案書ヲ提出スルコト能ハサルトキ亦同シ
- 五、身分登記簿燒失、紛失等ノ爲戸籍謄本ヲ提出シ得サル者ハ其ノ戸籍ヲ知ルニ足ルヘキ證書ヲ作成シ之ニ市區町村吏員又ハ警察官ノ與書證明ヲ受ケ提出スヘシ
- 六、死者ノ扶養ヲ受ケタル者救濟金ヲ請求スル場合ニ於テ地方警察官又ハ市區町村長ノ作製セル事實證明書ヲ提出スルコト能ハサルトキハ近住者二人以上ノ證明セル事實證明書ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得
- 七、現認證書ヲ提出スルコト能ハサルトキハ之ヲ省略スルコトヲ得、此ノ場合ニ於テハ其ノ旨申告書ニ

海軍公報 第三千二百七十號 大正十二年九月十四日

八七五

2143

記載スヘシ

○ 雜 款

○ 震災救護ニ關シ帝國海軍ノ探リタル行動ノ概要

本月一日稀有ノ大地震ニ因リ帝都及其附近一帯前古未曾有ノ災害ヲ蒙ルヤ帝國海軍ハ其全力ヲ擧ケテ之カ救護ニ當ルノ決心ヲナシ直ニ必要ノ措置ヲ探レリ
震災當夜横須賀鎮守府司令長官ニ對シ警備ノ爲メ品川及横濱ニ軍艦派遣方ヲ電命シ續イテ二日午前徒歩連絡ニ依リ船橋無線電信所ヲ介シ吳、佐世保鎮守府司令長官、舞鶴及大湊要港部司令官ニ對シ艦船ノ派遣及糧食救護材料ノ輸送方ヲ命シ之ト同時ニ恰モ旅順方面ニ行動中ナリシ聯合艦隊ニ對シ即時内地ニ歸還シ糧食輸送ニ從事スヘキヲ電命ス

船橋無線電信所ハ當日午後三時頃震災ノ概要ヲ發信シタリ船橋ト東京トノ有線連絡ハ一時杜絶シ震災當夜ハ火災ノ爲徒歩連絡サヘ不可能ナリシカ二日午前ニ至リ人馬ニヨル連絡ヲナシ得ルニ至リ依テ各方面ノ通信連絡確實トナレリ横須賀ヨリノ派遣艦艇ハ二日品川及横濱ニ到着警備ニ任シ聯合艦隊又直チニ歸還ノ途ニ就キ其一部(第五戰隊、第一水雷戰隊、第二潜水戰隊(韓崎缺)ヲ廣島灣方面ニ殘シ應急ノ任務ニ當ラシメ爾餘ノ部隊ハ大連、釜山及關西方面ニ於テ、又吳及佐世保鎮守府麾下艦船ハ關西方面ニ於テ何レモ糧食及

救護材料搭載ノ上東京灣ニ向ケ急航セリ一方海軍省内ニ於テハ海軍震災救護委員會ヲ組織シ震災救護ニ關シ海軍ニ於テ探ルヘキ方策ヲ講究シ極力救護ニ從事スルト共ニ震災並立カ救護ニ關スル情報ヲ無線電信ニ依リ内外各地ニ通報セリ

聯合艦隊司令長官ハ五日品川沖著後其司令部事務所ヲ海軍省内ニ置キ品川沖ニ集合セル海軍艦船全部ヲ指揮シ震災救護ニ關スル艦隊諸般ノ要務ヲ管掌シ第二艦隊ヲシテ主トシテ東京方面ヘノ糧食救護材料ノ輸送陸揚ニ任セシメ第三戰隊ヲシテ横濱ノ糧食陸揚支給其他ノ救護並警備一切ニ從事セシメ第二水雷戰隊其他ヲシテ房總半島西岸、伊豆半島及伊豆諸島沿海地方ノ震災狀況調査並ニ糧食支給其他ノ救護一切ヲ擔任セシメ又一部驅逐艦ヲシテ宮家御用ニ服セシメ、練習艦隊外數艦ヲ以テ東京、横濱及横須賀ト清水港間ノ避難者海上輸送ニ當ラシメ其他ノ艦船ハ搭載物件揚陸後或ハ警備ニ或ハ輸送ニ又ハ續々來著スル商船搭載物資ノ陸揚ニ從事シ何レモ晝夜兼行最善ノ努力ヲ以テ其作業ヲ續行シテ、横須賀鎮守府司令長官ハ戒嚴令ノ實施ト共ニ横須賀市及三浦郡戒嚴司令官ニ補セラレ麾下艦船部隊ヲ指揮シテ同地方一帯ノ戒嚴並ニ糧食配給其他救護一切ニ任シタリ
今ヤ帝國海軍ハ其全力ヲ擧ケテ震災救護ニ從事シ艦隊ノ將卒ハ勿論其他各部到ル處士氣旺盛皆軍國ニ處スルノ意氣ヲ以テ献身の努力ヲナシタリ

○艦船所在

指定ヲ要セス

○九月十四日午前十時調

【品川、横濱、横須賀】

口長門、日向、陸奥
口金剛、比叡、霧島

淺間、吾妻、富士、夕張

韓崎、神威、鶴見、室戸、野島、膠州

北波風、野風、沼風、驅一

北澤風、峯風、浦風、驅一

北灘風、島風、秋風、羽風

北太刀風、夕風、汐風、帆風

北浦波、磯波、水無月、長月、菊月、綾波

北時雨、夕風、掃一、掃二、掃三

北加賀、安藝、薩摩、三笠

北榛名、阿蘇、日進、鳳翔
北朝日、武藏、大泊、洲崎、鳴戸、青島
北矢風、濱風、浦風

初春、初雪、春風、江風

潜波一、潜波二、潜波三、潜波四、潜波一〇、潜波一八、潜波一九、潜波二〇、潜波三八

伊勢、球磨、多摩、大井

山城、春日、五十鈴、天龍

筑摩、千早、磐手、關東、滿州、石廊、尻矢、若宮

山風、海風、潜五七、潜四六、潜四七、潜三〇、潜二九、潜二八

【石川島】

【浦賀】

【館山】

【清水】

【吳】

初春、初雪、春風、江風

潜波一、潜波二、潜波三、潜波四、潜波一〇、潜波一八、潜波一九、潜波二〇、潜波三八

伊勢、球磨、多摩、大井

山城、春日、五十鈴、天龍

筑摩、千早、磐手、關東、滿州、石廊、尻矢、若宮

山風、海風、潜五七、潜四六、潜四七、潜三〇、潜二九、潜二八

【石川島】

【浦賀】

【館山】

海軍公報 第三千二百七十號 大正十三年九月十四日

八七七

【神月】 神津、蓮、運、潜五九、潜六八、潜六九、潜七一、
 潜七二、潜七三、鹿島、香取、
 【假屋沖】 鹿島、香取、
 【舞鶴】 鹿島、香取、
 【佐世保】 鞍馬、生駒、肥前、最上、宇治、
 敷島、知床、襟裳、佐多、
 桐、樺、櫻、橘、
 野分、白雲、松風、霞、董、
 潜一八、潜二二、潜四二、潜四三、
 潜四一、潜六二、
 長崎、長崎、
 馬公、松、柏、
 鎮海、桂、楓、楠、梅、
 潜三二、潜三三、潜三三、

【旅順】 若葉、潮、朝風、子日
 【亞港】 夕立、夕暮、三日月、白霧
 【ベニ港】 樺、桑
 【スカルヤ】 樺、桑
 【南洋群島】 松江
 【厦門】 杉
 【上海】 勢多、堅田、隅田
 【鎮江】 樺、柳、檜、桃
 【南京】 對馬
 【漢口】 保津、安宅
 【長沙】 鐵峨
 【宜昌】 伏見
 【重慶】 鳥羽
 【ホノルル】 隱戸
 【航海中】
 能登呂 (八月二十五日「タラカン」發一吳へ)
 比良 (九日宜昌發一重慶へ)
 大和 (潮岬附近ヨリ品川沖へ)
 横戸 (五日一ベ一港發一堪察加半島西岸へ)
 平戸 (十二日芝浦發一神戸經由吳へ)
 本會 (九日一サイパン一發一横須賀へ)
 利根 (十三日品川發一吳へ)
 迅鯨 (十三日清水發一横須賀へ)
 扶桑 (十三日清水發一品川へ)
 千歳 (十三日吳發一高濱へ)
 楡 (十三日佐世保發一芝浦へ)

(部内限二頁)

海軍公報

第三千二百七十二號

海軍大臣官房

大正十二年九月十五日(土)

○令 達

官房第三〇九九號

大正四年十二月官房第三八二五號中「軍艦千早」ヲ削

本令ハ大正十二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十二年九月十五日

海軍大臣 財 部 彪

參照 大正四年十二月官房第三八二五號ハ臨時軍費ヲ以テ經費ヲ
支辨スヘキ各部ノ件ナリ

○通 牒

官房第三二〇〇號

大正十二年九月十五日

海軍次官 岡 田 啓 介

東京所在各廳長殿

當分ノ間交通不便ナル遠隔ノ地域ニ居住スル者ニハ大
正十二年官房第三〇七一號ニ規定スル人員及職工ヲ除
クノ外各廳長ノ裁量ニ依リ退廳時刻ヲ一時間以內繰上
ケ執務セシムルコトヲ得ルコトニ被定候
右依命通牒ス

海人第三ノ二〇〇號ノ六

大正十二年九月十五日

海軍省人事局長 山梨勝之進

各所轉長殿

海軍軍人軍屬罹災狀況調査ニ關スル件

今同ノ震災ニ關シ罹災狀況調査上必要有之候條貴部下
ニ於ケル遭難者ニ就キ別紙様式ノ區分ニ依リ御調査ノ
上至急御通報相煩度

右照會ス

追テ遭難者無之向ハ其旨御通知ヲ得度候

海軍公報 第三千二百七十二號

大正十二年九月十五日

八七九

考 備		六	五	四	三	二	一	類別	所 屬 名		
本表ハ類別毎ニ各別紙ニ調製スルモトス 但シ同一人ニシテ罹災數類重復スルトキハ類 別番號少キモノヲ罹災狀況欄ニ記シ其他ノモ ノハ記事欄ニ記スルモノトス		前數號以外ニ屬スルモ	本人ノ父母、妻子、重傷 住家ノ倒壞、埋沒、流失	本人重傷又ハ住家 <small>(下宿 ナ除ク以下)</small> 全燒	本人及其父母妻子ノ行 衛不明	本人ノ父母 <small>(養子ニ在リテ ハ實、養父母 以下)</small> 妻子死	本人死	本人死	罹 災 狀 況	官 氏 名	記 事

○ 辭 令

(各通)

海軍少佐 井上 成美
海軍大尉 田 結 稔

臨時震災救護事務ノ爲第三戰隊司令官ノ命ヲ承ケ服
務スヘシ

海軍大尉 岡 新

臨時震災救護事務ノ爲第二艦隊司令長官ノ命ヲ承ケ
服務スヘシ(以上ハ海軍大臣)

海軍少將 野村 吉三郎

高等軍法會議判士ヲ免ス(海軍省)

○艦船所在

指定ノ要セズ

○九月十五日午前十時調
〔品川、横濱、横須賀〕

口長門、日向、霧島
口金剛、比叡、夕張
吾妻、富士、夕張
韓崎、勝力
神威、鶴見、室戸、野島、膠州
北、上
巨波風、野風、沼風、驅一
巨澤風、峯風、沖風
巨難風、島風、秋風、羽風
巨太刀風、夕風、沙風、帆風
巨浦波、磯波、水無月、長月、菊月、綾波
巨葛、萩、藤、薄、葵
巨響、有明、如月、神風、吹雪、初霜
掃一、掃二、掃三
代志丸
加賀、安藝、薩摩、三笠
榛名、阿蘇、日進、鳳翔、迅鯨
朝日、武蔵、大泊、洲崎、鳴戸、青島
矢風、濱風
巨驅三、驅五、浦風
初春、初雪、春風、巨江風

〔石川島〕

雄、鴻、鷗
巨波一、潛波二、巨潛一四、潛波一〇、
潛五八、潛三九、潛四〇、潛三八
巨伊勢、球磨、多摩、大井
山城、春日、五十鈴、天龍、扶桑
巨筑摩
千早、磐手
關東、播州、石廊、尻矢、若宮
巨山風、海風
巨潛五七、潛四六、潛四七、巨潛三〇、
潛二九、潛二八

〔浦賀〕

阿武隈、驅八
八雲、淺間、淀、駒橋
土佐、伊吹、名取、野間、長良
高崎、早鞆、鬼怒

〔清水〕

由良、龍田、栗、葦
巨龍田、栗、葦
巨由良、名取、野間、長良

〔吳〕

巨龍田、栗、葦
巨由良、名取、野間、長良

〔常磐〕

常磐、炭、葦
巨常磐、炭、葦

〔矢矧〕

矢矧、天津風、磯風
巨矢矧、天津風、磯風

海軍公報 第三千二百七十一號 大正十二年九月十五日

八八一

谷風、菊、朔生、卯月、疾風

潜二六、潜二五、潜二七

潜波三、潜波四、潜波五

潜波六、潜波七、潜波八

潜三七、潜二四、潜三二

潜一九

【由良内】
【神戸】
【假屋沖】
【舞鶴】
【佐世保】

間宮、鹿島、香取、鞍馬、生駒、肥前、最上、宇治

潜七〇、潜七二、潜五九、潜六八、潜六九、潜七一

梨、榎、榿、竹、柿、桐、樺、櫻、橘

野分、白雲、松風、霞、董、潜一八、潜二一、潜四二、潜四三

潜四一、潜六二

長、馬、鎮、海、旅、順、南洋群島

松、柏、榎、梅、松、榎、梅、潮、朝風、子日

【距港】
【上】
【鎮江】
【南京】
【漢口】
【宜昌】
【重慶】
【厦門】
【ハルル】

粟橋、夕暮、三日月、白露、櫻、桑、勢多、堅田、阴田

櫻、柳、檜、桃、對馬、安宅

伏見、鳥羽、隠戸

【航海中】

能登呂 (八月二十五日「タラカン」發一吳へ)

比良 (九日宜昌發一重慶へ)

大和 (潮脚附近ヨリ品川沖へ)

平戸 (五日一港發一堪察加半島西岸へ)

利根 (九日一サイパン發一横須賀へ)

千歳 (十三日品川發一吳へ)

出雲 (十五日吳發一神戶へ)

貴船丸 (十五日横濱發一青森へ)

(部内限ナシ)

海軍公報

第三千二百七十二號

大正十二年九月十七日(月)

海軍大臣官房

大出

○通牒

經豫第三九一號

大正十二年九月十四日

海軍省經理局長 深水貞吉

關係支出官殿

震災救護及戒嚴費ノ件

本年九月官房第三〇八五號震災救護及戒嚴費支出規程ニ依リ震災救護及戒嚴費ノ支辨ト定メラレタル事項ニ在リテモ同費豫算不足ノ場合ニ於テハ經常費ヲ以テ支辨スル儀ト御承知相成度
右爲念通牒ス

○雜款

○司令潜水艦變更

第五潜水隊司令ハ本月一日司令潜水艦ヲ第三十九潜水艦ヨリ第三十八潜水艦ニ變更セリ

海軍公報 第三千二百七十二號 大正十二年九月十七日

八八三

2151

○艦船所在 指定ヲ要セズ

○九月十七日午前十時
品川、横濱、横須賀

長門、日向、陸奥
 金剛、比叡、霧島
 吾妻、富士、夕張
 勝力、八雲、野島
 神威、鶴見、室戸
 北上、野風、沼風、驅一
 波風、峯風、沖風、驅一
 澤風、島風、秋風、羽風
 灘風、夕風、沙風、帆風
 太刀風、驅一〇、驅一六、驅一八
 浦波、磯波、水無月、長月、菊月、綾波
 葛、萩、藤、薄、葵
 時雨、夕風
 響、有明、如月、神風、吹雪、初霜
 掃一、掃二、掃三
 代志丸
 加賀、安藝、薩摩、三笠、出雲
 榛名、阿蘇、日進、鳳翔、迅鯨、水曾
 朝日、武藏、大泊、洲崎、鳴戸、青島
 矢風、浪風
 驅三、驅五、浦風
 初春、初雪、春風、江風

雄、鴻、鷗
 潜波一、潜波二、潜波一四、潜波一〇、
 潜五八、潜三八、潜三九、潜四〇、
 伊勢、球磨、多摩、大井
 山城、春日、五十鈴、扶桑
 筑摩
 千早、磐手
 關東、石廊、尻矢、若宮
 潜五七、潜四六、潜四七、潜三〇、
 潜二九、潜二八
 石川島
 驅一二
 阿武隈
 驅六、驅八
 淺間、天龍
 土佐、伊吹、淀、駒橋、平戸
 高崎、早鞆、野間、能登呂
 明石、劍埼
 由良、名取、鬼怒、長良
 龍田
 梅、栗
 常磐、炭、葦
 矢矧
 潜三三、潜二〇、潜三五、潜三六、
 潜三四、潜四四、潜四五、潜五二
 時津風、天津風、磯風
 追風、彌生、卯月、疾風

谷風、菊
 潜二六、潜二五、潜二七
 潜波三、潜波四、潜波五
 潜波六、潜波七、潜波八
 潜三七、潜二四、潜三二
 潜一九
 【由良内】
 潜津、蓮
 潜五九、潜六八、潜六九、潜七一、
 潜七二
 【神戶】
 間宮
 潜七〇
 【假屋沖】
 鹿島、香取
 假島、檜
 【佐世保】
 彼馬、生駒、巴前、最上、宇治
 敷島、知床、襟裳、佐多
 梨、榎、樅、竹、柿、蓬
 桐、樺、櫻、橘
 野分、白雪、松風、霞、蘆
 潜一八、潜二一、潜四二、潜四三、
 潜四一、潜六二
 【長崎】
 長崎
 【馬公】
 長崎、柏、柳
 【鎮海】
 桂、楓
 潜三一、潜三二、潜三三
 【釜山】
 楠、梅
 【旅順】
 松若葉、潮、朝風、子日
 【南洋群島】
 松江

【亞港】
 夕立、夕暮、三日月、白露
 栗橋
 【上海】
 勢多、堅田、隅田
 【鎮江】
 柳、檜、桃
 【南京】
 劉島
 【漢口】
 保津、安宅
 【長沙】
 嬌娥
 【宜昌】
 伏見
 【重慶】
 鳥羽
 【厦門】
 杉
 【ハルル】
 隠戸
 【航海中】
 比良 (九日宜昌發—重慶)
 横二 (五日—港發—堪察加半島西岸)
 滿州 (十六日品川發—逗子)
 韓崎 (十六日清水發—吳)
 千歲 (十六日大阪發—横須賀)
 貴船丸 (十六日横濱發—大湊)
 大和 (十六日尾鷲灣發—品川灣)
 膠州 (十六日横須賀發—四日市)
 山口風、海風 (十七日横須賀發—清水)
 利根 (十七日吳發—宮島)

海軍公報 第三千二百七十二號 大正十二年九月十七日 (部内限ナシ) 八八五

海軍公報

第三千二百七十三號

大正十二年九月十八日(火)

海軍大臣官房

○令達

官房第三一一五號

震災地所在ノ各應勤務者ニシテ救難事務ニ従事スル者ニ對シテハ海軍戰時給與規則第十二條ヲ適用シ戒嚴施行ノ期間左記ノ標準金額以內ニ於テ適宜ノ糧食ヲ支給ス

官 職	標 準 日 額	
	一 般	請切徹夜勤務者
奏任官以上、同待遇者	七十錢	一圓五錢
判任官、同待遇者	六十錢	九十錢
雇 員、備 人	五十錢	七十五錢
職 工	二十錢	三十錢

震災地所在ノ團隊勤務及同地域ニ派遣セラレテ救難作

業ニ従事スル團隊勤務ノ准士官以上候補生並陸上勤務外宿中ノ下士官兵ニハ海軍給與令施行細則第十九表ノ二ノ規定ニ拘ラス前項ノ糧食ヲ支給ス但シ外宿中ノ下士官兵ニ對シテハ日額八十錢以內ニテ支辨スヘシ

大正十二年九月十八日

海軍大臣 財 部 彪

○雜 款

○海軍代表

故山階宮妃佐紀子女王殿下告別式本十八日午前八時ヨリ九時ノ間ニ於テ被爲行候ニ付左記ノ者海軍代表者トシテ御本邸へ參集スヘキ旨通達セラレタリ

海軍代表者 海軍少將 山 本 英 輔

○郵便物發送先

海軍公報 第三千二百七十三號 大正十二年九月十八日

八八七

軍艦春日宛

自今

大 湊

第二十六驅逐隊司令部及楡宛

當分ノ間

品 川

驅逐艦梅、栗宛

當分ノ間

吳

驅逐艦柿宛

當分ノ間

佐 世 保

○水路部事務所

水路部假事務所ヲ海軍省内ニ置ク(九月十二日)

海軍大佐從五位勳三等森山明、海軍大尉正七位勳
六等石橋滋、海軍少尉正八位加藤三郎ハ九月一日
震災ニ依リ死去セリ

海軍主計大佐從五位勳三等野村健、海軍中佐正六
位勳四等伊藤貞一、海軍中尉從七位寺崎慶一ハ本
月十二日芝浦ニ於テ遭難死去セリ

○正誤

本月十一日令達欄官房第三〇七七號中

「艦船、部隊、學校、病院勤務ノ」ノ下ニ「生徒」ヲ、
「救難作業ニ従事スル艦船、部隊ノ」ノ下ニ「練習中ノ
候補生」ヲ脱ス

2155

○艦船所在

△印ハ「ハ」ホ
指定ヲ要セス

○九月十八日午前十時調
〔品川、横濱、横須賀〕

日長門、日向、陸奥
 日金剛、比叡、霧島
 吾妻、富士、夕張、攝津、出雲
 勝力、若宮
 神威、鶴見、室戸、野島、大和
 北上
 日太刀風、夕風、汐風、帆風
 日浦波、磯波、水無月、長月、菊月、綾波
 日高、萩、藤、海
 日時雨、夕風
 日響、有明、如月、神風、吹雪、初霜
 日掃一、掃二、掃三
 日代志九
 日加賀、安藝、薩摩、三笠
 日榛名、阿蘇、日進、鳳翔、迅鯨、水曾
 日朝日、武蔵、大泊、洲崎、鳴戸、青島
 日波風、野風、沼風、驅一
 日澤風、峯風、沖風、羽風
 日灘風、島風、秋風
 日矢風、濱風
 日驅三、驅五、浦風
 日初春、初雪、春風

〔石川島〕
〔浦賀〕
〔逗子〕
〔清水〕
〔吳〕

日雄、鴻、鷗
 日潛波一、潛波二、日潛一四、潛波一〇、
 日潛五八、日潛三八、潛三九、潛四〇
 日伊勢、球磨、多摩、大井
 日山城、春日、五十鈴、扶桑
 日筑摩
 日千早
 日關東、石廊、尻矢
 日潛五七、潛四六、潛四七、日潛三〇、
 日潛二九、潛二八
 日阿武隈
 日阿六、驅八
 日滿州
 日濱間、八雲、日山風、海風
 日土佐、伊吹、淀、駒橋、平戸
 日高崎、劍崎
 日白石、早鞆、野間、能登呂
 日由良、名取、鬼怒、長良
 日龍田
 日蓼、栗
 日梅、炭、葦
 日常磐
 日矢矧
 日潛三三、潛二〇、潛三五、潛三六、
 日潛三四、潛四四、潛四五、潛五一
 日時津風、天津風、磯風

海軍公報 第三千二百七十三號

大正十二年九月十八日

八八九

【亞港】夕立、夕暮、三日月、白露

【上港】樺、櫻、桑、勢多、堅田、阴田

【鎮江】櫻、柳、檜、桃

【南京】對馬

【漢口】保津、安宅

【長沙】嗶賊

【宜昌】伏見

【重慶】鳥羽

【厦門】杉

【假屋沖】鹿島、香取

【舞鶴】檜、檜

【佐世保】敷島、知床、襟裳、佐多

【長崎】野分、白雪、松風、飯、董

【馬公】長崎

【鎮海】桂、楓、梅

【釜山】松、柏、柳

【旅順】湖、朝風、子日

【南洋群島】松江

【航海中】

隠戸 (八月二十九日「ホノルル」發—横須賀へ)

楓 (五日「ベ」港發—樺察加半島西岸へ)

比良 (九日宜昌發—重慶へ)

韓崎 (十六日清水發—吳へ)

千歲 (十六日大阪發—横須賀へ)

貴船丸 (十六日横濱發—大湊へ)

膠州 (十六日横須賀發—四日市へ)

天龍 (十七日清水發—吳へ)

江風、葵 (十七日品川發—神戸へ)

潛六八 (十七日神戸發—吳へ)

潛手 (十八日清水發—品川へ)

利根 (十八日宮島發—佐世保へ)

(部内限ナシ)

海軍公報

第三千二百七十四號

大正十二年九月十九日(水)

海軍大臣官房

○通牒

官房第三〇四九號

大正十二年九月四日

海軍省副官 藤田 尚徳

在京各廳長殿

本年東京ニ於ケル海軍軍人第二種軍裝ヲ用フル期限ヲ九月二十日迄トセラレ候右通牒ス

官房第三一二三號

大正十二年九月十九日

海軍省副官 藤田 尚徳

各 廳 長 殿

任官、官等陞叙、昇給、叙位、叙勳等
發令日附ニ關スル件

本件ニ關シ内閣書記官長ヨリ海軍大臣宛左記ノ通牒有之候

右依命通知ス

記

大正十二年九月十二日

内閣書記官長 樺山 資英

海軍大臣 財部彪殿

依命通牒

今回ノ震災ニ因リ死亡シタル者又ハ其ノ他ノ死亡者ニシテ生前勤勞著シキ者ニ對シ任官、官等陞叙、昇給、叙位、叙勳等ヲ爲ス場合ニ於ケル發令日付ニ關スル件左ノ通牒決定相成候

任官、官等陞叙、昇給、叙位、叙勳等
發令日付ニ關スル件

今回ノ震災ニ因リ死亡シタル者又ハ其ノ他ノ死亡者ニシテ任官、官等陞叙、昇給内則ニ依ル叙位並特旨叙位(期前ノ定メ)若ハ叙勳及内則ニ依ラサル特旨叙位若ハ叙勳ノ發令日付ニ付テハ各死亡ノ日ニ遡及シテ之ヲ發令スルコトヲ得

但シ始期ヲ九月一日トシ、終期ヲ十月十日トス

海軍公報 第三千二百七十四號 大正十二年九月十九日

八九一

機校第二九四號

大正十二年九月十六日

海軍機關學校副官

各所 轄長 殿

練習生採用試験問題ノ件

本年七月送付ノ本校次期各練習生採用試験問題ハ便宜棄却相成度、採用期日決定次第更ニ試験問題送付可致候

右通知ス

○ 雜 款

○司令潜水艦變更

第六潜水隊司令ハ本月一日司令潜水艦ヲ第五十七潜水艦ヨリ第四十七潜水艦ニ變更セリ

○郵便物發送先

第二艦隊司令部(九月二十二日以後旗艦霧島)、軍艦金剛、霧島、比叡、若宮、第二水雷戰隊司令部、軍艦北上、第一驅逐隊(波風、第一驅逐艦、野風、沼風)、第二驅逐隊(澤風、沖風、峯風)、第三驅逐隊(太刀風、帆風、汐風、夕風)宛
當分ノ間 東京芝三田郵便局氣付

豫備役海軍軍醫大佐正五位勳三等西澤直次郎、豫備役海軍機關中佐從五位勳四等大熊靜雄ハ九月一日震災ニ依リ死去セリ

○ 正 誤

本月一日海軍豫備員辭令中菅原秀一ハ菅原秀一ノ誤

○艦船所在

△印ハハハハ
指定ヲ要セス

○九月十九日午前十時調
〔品川、横濱、横須賀〕

口長門、日向、陸奥
口金剛、比叡、霧島
吾妻、富士、夕張、千歳
勝力、八雲
神威、室戸、野島、大泊
北
口太刀風、夕風、沙風、帆風
口浦波、磯波、水無月、長月、菊月、綾波
口葛、萩、藤、潮
時雨、夕風
口豊、有明、如月、神風、吹雪、初霜
掃一、掃二、掃三
代志丸
加賀、安藝、薩摩、三笠、淺間、出雲
榛名、阿蘇、日進、鳳翔、迅鯨
朝日、武蔵、洲崎、鳴戸、青島、大和
隱戸、鶴見
口波風、野風、沼風、驅一
口澤風、峯風、沖風
口灘風、島風、秋風、羽風
口矢風、瀧風、口楡
口堀三、驅五、浦風

初春、初雪、春風

口雄、鴻、鷗
口潜波一、潜波二、口潜一四、潜波一〇、
潜五八、口潜三八、潜三九、潜四〇
口伊勢、球磨、多摩、大井
山城、五十鈴、扶桑、木曾、攝津
千早
石廊

口潜四七、潜五七、潜四六、口潜三〇、
潜二九、潜二八
口石川島
口浦賀
阿武隈
關六、關八

〔石川島〕
〔浦賀〕
〔阿武隈〕
〔關六、關八〕
〔逗子〕
〔清水〕
〔吳〕

筑摩、若宮、口山風、海風、關東
土佐、伊吹、淀、駒橋、平戸、天龍
明石、劍崎
高崎、早鞆、野間、能登呂
口由良、名取、鬼怒、長良
口龍田
口梅、栗
口菱、巖、章
常磐
口矢矧、韓崎
口潜三三、潜二〇、潜三五、潜三六、
潜三四、潜四四、潜四五、潜五一
口時津風、天津風、磯風
口追風、彌生、卯月、疾風

海軍公報 第三千二百七十四號 大正十二年九月十九日

八九三

谷風、菊

潜二六、潜二五、潜二七

潜波三、潜波四、潜波五

潜波六、潜波七、潜波八

潜三七、潜二四、潜三二

潜一九、潜六八

【大阪】

選、隔二、潜五九、潜六九、潜七一、潜七二

【假屋沖】

鹿島、香取

【佐世保】

鞍馬、生駒、肥前、最上、宇治

敷島、知床、襟裳、佐多

梨、榎、樅、竹、柿、蓬

桐、樺、櫻、橘

野分、白雪、松風、霞、董

潜一八、潜二一、潜四二、潜四三、潜四一、潜六二

【長崎】

長崎

【馬公】

松、柏、榊

【鎮海】

桂、楓、梅

【釜山】

楠

【旅順】

若葉、潮、朝風、子日

【西港】

夕立、夕暮、三日月、白露

【泥港】

梁橋、櫻、桑

【上海】

勢多、堅田、岡田

【鎮江】

柳、檜、桃

【南京】

劉馬

【漢口】

保津、安宅

【長沙】

磯峨

【宜昌】

伏見

【重慶】

鳥羽

【厦門】

杉

【航海中】

檳 (五日「ベ」港發―堪察加半島西岸へ)

比良 (九日宜昌發―重慶へ)

貴船丸 (十六日横濱發―大湊へ)

松江 (十六日「サイバン」發―二見へ)

磐手 (十八日清水發―品川へ)

春日 (十八日横須賀發―函館へ)

江風、葵 (十八日神戸發―吳へ)

蓼 (十九日吳發―神戸へ)

膠州 (十九日四日市發―品川へ)

(部内限三頁)

海軍公報

第三千二百七十五號

大正十二年九月二十日(木)

海軍大臣官房



○通牒

海人第六七號

大正十二年九月二十日

海軍省人事局長 山梨勝之進

關係各廳長殿

敝位進階内則中特旨敝位及位階追陞發令
期間延長ノ件

本件ニ關シ別紙ノ通牒有之候

右依命通知ス

(別紙)

大正十二年九月十二日

内閣書記官長 樺 山 資 英

海軍大臣 財部彪殿

依命通牒

今同ノ震災ニ因リ通信機關ニ障害ヲ來シタル爲敝位内
則ニ依ル特旨敝位及位階追陞ノ發令期間中該敝位ノ奏

請ヲ爲スコトヲ得サルモノ多々可有之ニ付テハ此ノ際
ニ限リ之カ期間ニ特例ヲ設ケ左ノ通牒期間延長ノ件關議
決定上裁ヲ經ダリ

敝位内則中特旨敝位及位階追陞發令期間

ニ特例ヲ設クルノ件

一、特旨敝位期間 一箇月ヲ二箇月ニ延長ス

一、位階追陞期間 十日間ヲ四十日間ニ延長ス

但シ始期ヲ九月一日トシ終期ヲ特旨敝位ニ付テ
ハ十月三十一日、位階追陞ニ付テハ十月十日ト
ス

○雜款

○郵便物發送先

第十七驅逐隊及山風、海風宛

自今

新 雜 翰

○正誤

大正十二年九月六日官房第三〇五四號ハ大正十二年九
月七日官房第三〇五四號ノ誤(海軍省經理局)

海軍公報 第三千二百七十五號

大正十二年九月二十日

八九五

○艦船所在

○九月二十日午前十時調

【品川、横濱、横須賀】

口長門、陸奥

口金剛、比叡

口吾妻、富士

口神威、室戸

口北上

口大刀風、夕風

口浦波、磯波

口時雨、秋、藤、薄

口掃一、有明、如月、神風

口代志丸

口加賀、山城

口榛名、阿蘇

口朝日、武藏

口隱戸、鶴見

口波風、野風

口深風、峯風

口灘風、島風

口矢風、濱風

口驅三、浦風

口初春、初雪

指定ヲ要セス

霧島、千歳

夕張、大泊

野島

帆風

驅一〇、驅一六、驅一八、驅五

水無月、長月、菊月、綾波

掃二、掃三

勝力、攝津

日進、鳳翔

洲崎、鳴戸

吹雪、初霜

迅鯨

青島

沼風、驅一

沖風、羽風

秋風、秋風

秋風、秋風

秋風、秋風

秋風、秋風

秋風、秋風

秋風、秋風

秋風、秋風

維、鴻、鷗

潛波一、潛波二、潛波一四、潛波一〇

潛波五八

伊勢、球磨、多摩、大井、日向

五十鈴、扶桑、水會

千早

石廊

潛四七、潛五七、潛四六、潛三〇

潛二九、潛二八

石川島

驅一二

阿武隈

驅六、驅八

滿州

若宮、八雲、磐手、關東

潛三八、潛三九、潛四〇

土佐、淀、駒橋、平戸、天龍

吳

高崎、早瀬、野間、能登呂

常磐、龍田

梅、栗

菱、巖、章

矢矧、韓崎

潛三三、潛三〇、潛三五、潛三六

潛三四、潛四四、潛四五、潛五一

時津風、天津風、磯風

追風、網生、卯月、疾風

江風、葵、谷風、菊

山風、海風

【神戶】 潜二六、潜三五、潜二七
 潜波三、潜波四、潜波五
 潜波六、潜波七、潜波八
 潜三七、潜二四、潜二二
 潜一九、潜六八
 潜六九、潜七一、潜七二
 間宮
 【假屋沖】 潜七〇
 【舞鶴】 最上、宇治、利根
 【佐世保】 敷島、知床、襟裳、佐多
 長崎 柳、檜、桃
 馬公 梨、榎、樺、竹、柿、蓬
 鎮海 桐、樺、櫻、橘
 旅順 野分、白雪、松風、霞、董
 亞細亞 潜一八、潜二一、潜四二、潜四三、潜四一、潜六二
 泥港 栗橋
 上野 榎、桑
 上海 勢多、堅田、岡田
 南京 劍馬

海軍公報 第三千二百七十五號

大正十二年九月二十日

(部内限一頁)

八九七

【漢口】 保津、△安宅
 【宜昌】 伏見
 【重慶】 鳥羽
 【廈門】 獅
 【航海中】
 楨 (五日「ベ」港發—堪察加半島西岸へ)
 比良 (九日宜昌發—重慶へ)
 貴船丸 (十六日横濱發—大湊へ)
 松江 (十六日「サイパン」發—二見へ)
 春日 (十八日横須賀發—函館へ)
 蓼 (十九日吳發—神戸へ)
 膠州 (十九日四日市發—品川へ)
 筑摩 (十九日清水發—横濱へ)
 淺間、出雲 (十九日横須賀發—神戸へ)
 尻矢 (大阪發—横須賀へ)
 大和 (十九日横須賀發—測量地へ)
 楓 (十九日鎮海發—釜山へ)
 杉 (十九日廈門發—馬公へ)
 潜五九 (十九日神戸發—吳へ)
 △由良、名取、鬼怒、長良 (二十日吳發—東京灣へ)

海軍公報 第三千二百七十六號

大正十二年九月二十一日(金)
海軍大臣官房

○通牒

大正十二年九月二十一日

海軍大學校

部内一般御中

教材用圖書寄贈(借用)方依頼ノ件

今回ノ震災ニテ本校類焼ト共ニ保管圖書及教材全部焼失シ目下之カ整理ニ鋭意從事中ニ有之候就テハ本校教材トシテ適當ナル圖書所有ノ諸官ハ此際本校へ寄贈(貸與)方特ニ御配慮ヲ得度
右依頼ス

追テ寄贈、貸與ニ區分目錄ヲ附シ便宜本校副官(當分海軍省教育局氣付)宛御送附ヲ得度申添候

○雜款

○郵便物發送先

海軍公報 第三千二百七十六號 大正十二年九月二十一日

八九九

2165

○艦船所在

△印△ハ△ホ△フ
指定ヲ要セス

○九月二十一日午前十時調

【品川、横濱、横須賀】

口長門、陸奥

口金剛、比叡、霧島

富士、夕張、千歲、淺間、滿州

神威、室戸、野鳥、大泊、膠州

北、上

口太刀風、夕風、汐風、帆風、口楡

口浦波、磯波、水無月、長月、菊月、綾波

口葛、萩、藤、薄

口時雨、夕風

口響、有明、如月、神風、吹雪、初霜

口掃一、掃二、掃三

代志丸

加賀、山城、勝力、攝津、千早

榛名、阿蘇、日進、鳳翔、迅鯨

朝日、武藏、洲崎、鳴月、青島

隱戸、鶴見

口波風、野風、沼風、驅一

口澤風、峯風、沖風、驅一

口灘風、島風、秋風、羽風

口矢風、濱風

口駒三、浦風

口初春、初雪、春風

口雄、鷓、鷓

口潛波一、潛波二、口潛一四、潛波一〇、

口伊勢、球磨、多摩、大井、日向

口扶桑、木曾、口筑摩

石廊

口潛四七、潛五七、潛四六、口潛三〇、

口潛二九、潛二八

口阿武隈

口關六、關八

口五十鈴、關東

口大湊、口潛三八、潛三九、潛四〇

口函館、春日

口吳、土佐、淀、駒橋、平戸、天龍

口高崎、早鞆、野間、能登呂

口龍田

口梅、栗

口韓崎

口潛二三、潛二〇、潛三五、潛三六、

口潛三四、潛四四、潛四五、潛五一

口時津風、天津風、磯風

口追風、彌生、卯月、疾風

口江風、葵、谷風、菊

口潛二六、潛二五、潛二七

口潛三三、潛三四、潛三五

口潛波三、潛波四、潛波五

口潛波六、潛波七、潛波八

【大】 潜三七、潜二四、潜三一
 潜一九、潜五九
 【神】 由良
 潜六九、潜七一、潜七二
 【假屋沖】 間宮
 潜七〇
 【舞鶴】 榎▲
 最上▲、宇治▲、利根▲
 【佐世保】 敷島▲、知床▲、襟裳▲、佐多▲
 榎、柳、檜、桃
 榎、蓬
 榎▲、櫻▲、橘▲
 榎、白雲、松風、霞、董
 潜一八、潜二一、潜四二、潜四三、
 潜四一、潜六二
 【長崎】 長崎
 【馬公】 長崎、梅、杉
 【鎮海】 潜三一、潜三二、潜三三
 【旅順】 若葉、潮、朝風、子日
 【亞港】 夕暮、三日月
 【開宮海峡】 栗橋
 【上港】 榎、桑
 【上海】 勢多、堅田、岡田
 【南京】 對馬
 【漢口】 保津、安宅
 【長沙】 曉帆

【宜昌】 伏見
 【重慶】 鳥羽
 【厦門】 嶺
 【航海中】
 檳 (五日「べ」港發—堪察加半島西岸へ)
 比良 (九日宜昌發—重慶へ)
 貴船丸 (十六日横濱發—大湊へ)
 松江 (十六日「サイパン」發—二見へ)
 吾妻、出雲 (十九日横須賀發—神戸へ)
 尻矢 (大阪發—横須賀へ)
 大和 (十九日横須賀發—測量地へ)
 楓 (十九日鎮海發—釜山へ)
 白鷺 (十九日亞港發—「ツマルガ」へ)
 磐手、八雲、若宮 (二十日清水發—品川へ)
 矢矧 (二十日吳發—大阪へ)
 常磐 (二十日吳發—芝浦へ)
 梨、榎、竹、菱、華 (二十日吳發—名古屋へ)
 樞 (二十日吳發—高濱へ)
 連、颯二、蓼 (二十日神戸發—横濱へ)
 山風、海風 (二十日吳發—舞鶴へ)
 夕立 (二十日亞港發—「ツマルガ」へ)
 巖 (二十日高濱發—清水へ)
 潜六八 (二十日吳發—佐世保へ)

海軍公報 第三千二百七十六號 大正十二年九月二十一日 (部内限一頁) 九〇一

海軍公報

第三千二百七十七號

大正十二年九月二十二日(土)
海軍大臣官房

○通牒

官房第三一四五號

大正十二年九月二十二日

海軍省副官 藤田 尚徳

關係各廳御中

官報購讀ニ關スル件

本件ニ關シ左記ノ通印刷局出張所ヨリ申越候ニ付各廳
毎ニ直接同所へ通知方御取計相成度
右申進ス

記

大正十二年九月十五日

衆議院構内

印刷局出張所

官報購讀ノ件

今回ノ大震災ニテ當局及工場全部焼失シタル爲官報ヲ
購讀セラレ居候個所等調査全ク不能ト相成候ニ付乍御

海軍公報 第三千二百七十七號

大正十二年九月二十二日

九〇三

手數管下殖民地艦船又ハ外國駐在官ニテ八月三十一日
現在購讀セラレ居候部數住所氏名各官衙別ニ大至急東
京市小石川區白山御殿町東京帝國大學理學科植物園内
印刷局假事務所宛申込マルル様御通達相願度
追テ本年度分官報代金ヲ前納セラレタル向モ可有之
ニ付領收證寫若ハ納付セラレタル月迄ノ證明セラレ
ル書面ヲモ添付相成様併テ御通達相願度申添候

○雜款

○郵便物發送先
第五十九潜水艦宛
自今

佐世保

○事務所撤去
神戸三菱造船所内ニ設置ノ第五十九潜水艦裝具事務
所ヲ九月十七日限り撤去セリ

○辭令

橫須賀鎮守府附被仰付	海軍大佐	森 初次	佐世保鎮守府附被仰付	同	西内 熊意
海軍軍令部出仕	同	田村 丕顯	橫須賀鎮守府附被仰付	同	伊藤 萬喜多
歸朝ヲ命ス	同	丸尾 剛	吳鎮守府附被仰付	同	齋藤 忠次郎
吳鎮守府附被仰付	海軍大佐	中 島 晋	吳海軍港務部部長	同	尼子 晴兄
(各通)	同	谷口 美貞	攝津運用長兼分隊長	同	高木 四郎
橫須賀鎮守府附被仰付	同	松平 保男	鶴見副長	同	高木 嘉藏
臨時海軍防備隊司令	同	湯地 秀生	山城運用長兼分隊長	同	伊佐 卓爾
(各通)	同	辻 友輔	吳鎮守府附被仰付	同	渡邊 安尙
橫須賀鎮守府附被仰付	同	近藤 直方	橫須賀鎮守府附被仰付	同	杉本 美海
洲崎特務艦長心得被仰付	同	山口 權平	吳鎮守府附被仰付	同	安部 寛
早鶴要港部港務部長	同	安部 隆吉	野島運用長	同	渡部 威
早軀艦裝員長心得被仰付	同	合田 四郎	橫須賀鎮守府附被仰付	同	田中 正明
兼補海軍水雷學校教官	海軍中佐	波川 正三郎	(各通)	同	小森 幸一
(各通)	同	青木 國太郎	待命被仰付(横)	同	杉本 嘉多雄
橫須賀鎮守府附被仰付	同	松井 利三郎	鳳翔運用長兼分隊長	同	谷池 三郎
橫須賀海軍軍需部部長	同	小松 三郎	平戸運用長兼分隊長	同	秋永 三夫
橫須賀鎮守府附被仰付	同	河野 初太郎	關東運用長兼分隊長	同	恩地 貞市
海軍少佐	同	雨宮 厚作	樺驅逐艦長心得被仰付	海軍大尉	阪本 敏
河村 辰雄	同	夕張分隊長	初霜驅逐艦長(兼職如故)	同	須賀 彦次郎
			佐世保鎮守府附被仰付	同	小島 常次郎
				同	田尻 種彦
				同	梅崎 卯之助

鴻純長兼海軍水雷學校教官	同	猪瀬 正盛	鶴見機關長心得被仰付	海軍機關大尉	富井 宗治
霞ヶ浦海軍航空隊分隊長(兼職如故)	同	赤柴 千仗	五十鈴乘組被仰付	海軍機關少尉	七島 軍一
霞ヶ浦海軍航空隊附(兼職如故)	同	岡田 次作	豫備役被仰付	海軍機關大佐	越村 善二
霞ヶ浦海軍航空隊附(兼職如故)	同	松尾 銀藏	海軍經理學段軍醫長兼	海軍軍醫中佐	伏島 忠雄
休職被仰付(佐)	同	秦 知行	海軍軍醫學校教官兼	海軍軍醫少佐	長田 勝芳
伏見乘組被仰付	海軍中尉	福住 不二男	海軍軍醫學校教官兼	海軍軍醫少佐	桑原 準治
待命被仰付(佐)	海軍少尉	松永 義孝	兼補宇治軍醫長最上軍醫長	同	濱田 三郎
横須賀鎮守府附被仰付	同	河野 毅	兼補橫須賀海軍病院部員	同	島田 稻水
(各通)	海軍大佐	豊島 二郎	免兼佐多軍醫長	海軍軍醫大尉	小林 義雄
(各通)	同	松坂 茂	佐多軍醫長心得被仰付	海軍軍醫中尉	水瀧 増作
(各通)	同	森脇 榮枝	豫備役被仰付	海軍藥劑大佐	渡邊 佐助
(各通)	同	前川 直平	舞鶴要港部部員	海軍主計大尉	土屋 永七郎
(各通)	同	土肥 金恒	横須賀海軍軍需部部員	同	
(各通)	同	廣澤 得定	兼補造兵監督官	海軍造船大佐	玉澤 煥
豫備役被仰付	海軍少佐	佐々木 定	歸朝ヲ命ス(以上 ^九 海軍省)	海軍造船少佐	福田 啓二
海軍少尉候補生ヲ命ス	海軍少尉候補生	木梨 鷹一	歸朝ヲ命ス(以上 ^九 海軍省)	海軍軍醫中尉	東宮 豊達
海軍少尉候補生ヲ命ス	海軍機關大佐	木梨 鷹一	豫備役被仰付(請海軍省)	海軍軍醫少尉	木戸 孝徳
海軍機關大佐	海軍機關少佐	木梨 琢磨		海軍軍醫中佐	今井 金三郎
海軍機關少佐	同	木梨 琢磨			
歸朝ヲ命ス	同	澤田 端			
佐世保鎮守府附被仰付	同	澤田 端			

公報 第三千二百七十七號 大正十二年九月二十二日 九〇五

(各通) 同 海軍藥劑大尉 伏島 忠雄
 兼補海軍省醫務局局員(附海軍省) 清水 辰太
 橫須賀鎮守府附被仰付 海軍大尉 鈴木 繁彌
 第十驅逐艦乘組被仰付 同 小早川 邦三
 待命被仰付(吳) 同 佐藤 貫造
 下早分隊長 同 森川 亦男
 尻矢分隊長心得被仰付 海軍中尉 瀧口 康人
 第十驅逐艦乘組被仰付 海軍少尉 江木 伯二
 廣乘組被仰付 同 中村 謙治
 平戶分隊長心得被仰付 海軍中尉 濱木 光雄
 樞乘組被仰付 海軍少尉 福田 弘二
 海軍水路中佐 飯塚 太郎
 水路部部員(以上附海軍省) 海軍少佐 河村 文平
 待命被仰付(吳) (附海軍省) 同 松岡 弘人
 第五潜水隊司令心得被仰付 同
 第三十九潜水艦長心得被仰付 海軍大尉 古木 百藏
 海軍中尉 岡本 義助
 第四十潜水艦乘組被仰付(以上附海軍省) 海軍少將 小林 研藏
 海軍將官會議議員 同 野村 吉三郎
 第一遣外艦隊司令官 同 海軍大佐 內藤 省一
 橫須賀鎮守府附被仰付 海軍中佐 吉川 眞清
 關東特務艦長

廣須賀鎮守府附被仰付 海軍少佐 井上 眞吾
 高橋運用長 同 増山 忠雄
 鶴見運用長 同 河村 源一郎
 吳海兵團分隊長兼教官 同 犬塚 肇
 陸奥軍醫長兼分隊長 海軍軍醫中佐 高杉 新一郎
 待命被仰付(吳) 海軍軍醫中佐 石原 義雄
 佐世保海軍病院部員 海軍軍醫中尉 銅直 杉造
 休職被仰付(廣) 海軍主計少佐 島崎 一勝
 海軍大尉 金樹 義夫
 第六十八潜水艦長心得被仰付 同 三戸 半九
 海軍中尉 佐々木 倉治
 海軍機關大尉 早川 倉治
 第六十八潜水艦乘組被仰付(以上附海軍省) 海軍少佐 横山 菅雄
 海軍大尉 奥島 章三郎
 海軍中尉 大竹 壽雄
 海軍機關大尉 小川 眞
 第五十九潜水艦乘組被仰付(以上附海軍省) 海軍機關大尉 小川 眞

○艦船所在

△印ハハカテ
指定ヲ要セス

○九月二十二日午前十時調

【品川、横濱、横須賀】

日長門、陸奥、霧島
 日金剛、比叡、霧島
 日磐手、八雲、淺間、扶桑
 富士、夕張、千歳、大泊、膠州、石廊
 神威、室戸、野島、大泊、膠州、石廊
 北上
 夕風、汐風、帆風、日楡
 日選、日一六、日一八、日一五
 日浦波、日磯波、水無月、長月、菊月、綾波
 日葛、日萩、日藤、日薄
 日時雨、日夕風、如月、神風、吹雪、初霜
 日掃一、日掃二、日掃三
 日加賀、日山城、日勝力、日嶺津、日千早
 日榛名、日阿蘇、日進、日鳳翔、日迅鯨、日滿州
 日朝日、日武蔵、日洲崎、日鴨戸、日青島
 日鶴見
 日波風、日野風、日沼風、日驅一
 日澤風、日峯風、日沖風、日驅二
 日瀨風、日島風、日秋風、日羽風
 日驅四、日驅一〇
 日矢風、日濱風
 日驅三、日浦風

海軍公報 第三千二百七十七號

大正十二年九月二十二日

九〇七

日初春、初雪、春風
 日雄、日鴻、日鷗
 日潛波一、日潛波二、日潛波三、日潛波四、日潛波一〇、
 日潛波八
 日伊勢、日球磨、日多摩、日大井、日日向
 日本會、日筑摩
 日潛四七、日潛五七、日潛四六、日潛三〇、
 日潛二九、日潛二八
 日石川島、日驅一二
 日阿武隈、日驅八
 日浦賀、日驅六、日驅八
 日清水、日五十鈴
 日名古屋、日菱、日翠
 日大湊、日春日
 日潛三八、日潛三九、日潛四〇
 日函館、日代志九
 日土佐、日淀、日駒橋、日平戸、日天龍
 日明石、日劍崎
 日高崎、日早刺、日野間、日能登呂
 日梅、日栗
 日韓崎
 日潛二三、日潛二〇、日潛三五、日潛三六、
 日潛三四、日潛四四、日潛四五、日潛五一
 日時津風、日天津風、日磯風
 日追風、日彌生、日卯月、日疾風
 日江風、日葵、日谷風、日菊
 日潛二六、日潛二五、日潛二七
 日潛波三、日潛波四、日潛波五

【假屋沖】 潜七〇
 【舞鶴】 山風、海風、櫻、檜
 【佐世保】 最上、宇治、利根、龍田、敷島、知床、樺、佐多
 樞、柳、檜、桃
 桐、樺、櫻、橋
 野分、白雪、松風、霞
 潜一八、潜二二、潜四二、潜四三、潜四一、潜六一

【大】 潜六九、潜七一、潜七二
 【阪】 由良、鬼怒、長良
 【神戶】 名取、鬼怒、長良

潜波六、潜波七、潜波八
 潜三七、潜二四、潜三二
 潜一九、潜五九

【長崎】 長鯨
 【馬公】 松、梅、杉
 【鎮海】 桂、梅、楠
 【旅順】 若葉、潮、朝風、子日
 【亞港】 夕暮、三日月
 【同官海峽】 栗橋
 【上海】 勢多、堅田、剛田
 【鎮江】 對馬
 【漢口】 保津、安宅

【航海中】
 比良 (九日宜昌發 | 重慶へ)
 貴船丸 (十六日横濱發 | 大湊へ)
 松江 (十六日横濱發 | 神戶へ)
 吾妻 (十九日横濱發 | 神戶へ)
 尻矢 (大阪發 | 横須賀へ)
 大和 (十九日横濱發 | 測量地へ)
 楓 (十九日横濱發 | 釜山へ)
 白藤 (十九日横濱發 | サマルガへ)
 常磐 (十九日横濱發 | 品川へ)
 若宮 (二十日吳發 | 芝浦へ)
 梨 (二十日吳發 | 名古屋へ)
 縱 (二十日吳發 | サマルガへ)
 夕立 (二十日吳發 | 佐世保へ)
 潜六八 (二十日吳發 | 横須賀へ)
 蕨 (二十一日清水發 | 神戶へ)
 藤 (二十一日清水發 | 品川へ)
 矢矧 (二十二日神戶發 | 横須賀へ)
 出雲 (二十二日神戶發 | 横須賀へ)
 關東 (二十二日品川發 | 横須賀へ)
 太刀風 (二十二日品川發 | 横須賀へ)

【長沙】 磯峨
 【宜昌】 伏見
 【重慶】 鳥羽
 【厦門】 神

(部内限二頁)

海軍公報

第三千二百七十八號

大正十二年九月二十五日(火)
海軍大臣官房

○令達

官房第三一五六號

大正十二年度歳出科目左ノ通追加ス

大正十二年九月二十五日

海軍大臣 財部 彪

歳出經常部

款	項	目	節	解	疏	會計科目 電信略
恩給事務 (取扱費)	恩給事務 (取扱費)	事務費				
		× 旅費				ヤノカ

○辭令

佐世保鎮守府附被仰付 海軍中尉 古堀 明藏
 堅田艦裝員 同 猪口 敏平
 勢多艦裝員 同 小西 成三

對馬分隊長心得被仰付

同 比 顯 喜
平岡 義方

吳海兵團分隊長心得兼教官

同 海軍少尉 松浦 義
薄乘組被仰付 近藤 新一

梨乘組被仰付(以上皆海軍省)

○雜款

○司令驅逐艦變更

第二十八驅逐隊司令ハ本月十四日司令驅逐艦ヲ一時遂ヨリ蓮ニ變更セリ

第十三驅逐隊司令ハ本月二十日司令驅逐艦ヲ第十六驅逐艦ヨリ第十三驅逐艦ニ變更セリ

○司令驅逐艦指定

第十六驅逐隊司令ハ本月二十三日司令驅逐艦ヲ第十六驅逐艦ニ指定セリ

○郵便物發送先

海軍公報 第三千二百七十八號 大正十二年九月二十五日

九〇九

夕張宛

當分ノ間左記ニ依リ發送ノコト

- 一、關西方面ヨリノ分ハ 横須賀郵便局氣附
- 二、東京以東ヨリノ分ハ 三田郵便局氣附

特務艦膠州宛

自今 吳

特務艦野島宛

當分ノ間 東京市芝浦

特務艦能登呂宛

九月二十九日迄ニ到著見込ノモノハ 新舞鶴
其ノ後ハ 吳

第十三驅逐隊(第十、第四驅逐艦)宛

自今 吳

第二十八驅逐隊(蓬)宛

當分ノ間 佐世保

豫備役海軍中尉從七位勳六等石原隆三郎去月二十八日死去セリ

退役海軍軍醫中佐從五位勳四等藤井保太郎本月一日卒去セリ

○正誤

本月二十二日通牒欄官房機密第一三〇四號中「横須賀、吳海軍工廠」ハ「横須賀、吳、廣海軍工廠」ノ誤

○辭令

第十六驅逐隊司令

能登呂副長 海軍中佐 神本國太郎

劍崎運用長 海軍少佐 飯田干城

同 同 渡部幸吉

同 同 寺田幸吉

横須賀海軍航空隊隊長兼教官 同 樋口修二郎

造兵監督官兼造船監督官 同 竹中龍造

同 海軍大尉 同

横須賀海軍航空隊分隊長兼教官 海軍中尉 横山義雄

(各通) 同 田中義雄

横須賀海軍航空隊附 海軍機關少佐 山崎軍藏

兼補造兵監督官 同 澤田端

第十六驅逐隊機關長

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

陸與 金剛 陸與 比叡 伊勢 鳳翔 筑摩 霧島 多摩 矢矧 山城 霧島 長良 金剛 伊勢 日向 霧島 比叡 霧島 由良 日向 龍田 由良 球磨 長門

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

角田 齋藤 眞田 石原 寺井 佐竹 島崎 松木 近藤 林田 石城 中村 菅原 内堀 小堀 吉田 新谷 柚木 井上 鈴木 田中 瀬戸 永山 重富 澤邊 彰一

同 同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

球磨 筑摩 多摩 霧島 金剛 矢矧 陸奥 比叡 長良 大井 名取 金剛 (各通) 名取 北上 阿蘇 長門 (各通) 鬼怒 伊勢 北上

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

(以上皆海軍省)
田中 植村 宮田 前川 塚本 檜野 高内 土手 岡口 山口 永石 齋藤 有本 大島 川島 内田 岡田 藤島 森島 堀之内 牟里 瑞穂 正夫 嘉信 新一郎 壽雄 榮一郎 和義 義勝 三知夫 正孝 彌吉 輝美智 太郎 耕三 壽彦 萬作 耕次郎 茂忠 義光

(以下次號)

海軍公報 第三千二百七十八號 大正十二年九月二十五日

九二一

○艦船所在

△印ハハホフ
指定ヲ要セス

○九月二十五日午前十時調

【横須賀】

加賀、山城、日進、迅鯨、榛名、阿蘇、鳳翔、五十鈴

▽長門、多摩、▽常磐、▽筑摩、滿州、金剛、若宮、▽磐手、八雲、淺間

▽驅三、驅五、▽初春、初雪、春風

▽葛、萩、藤、薄、▽響、有明、如月、神風、吹雪、初霜、浦風、矢風、時雨、驅一八

▽灘風、島風、秋風、羽風、▽澤風、峯風、沖風

▽波一、▽波二、▽波一四、▽波一〇、▽波五八、▽波四七、▽波四六、▽波五七、▽波三〇、▽波二九、▽波二八

▽掃一、▽掃二、▽掃三

雄、鴻、鷗

朝日、洲崎、青島、鳴戸、武藏、神威、大泊、關東、高崎、尻矢、野島、膠州、貴船丸

【石川島】 驅一二

【品川】 霧島、比叡、▽名取、由良、▽北上、本會、夕張

▽太刀風、夕風、帆風、沙風、▽波風、

【横濱】

驅一、野風、沼風、富士、石廊

▽伊勢、球磨、大井

▽浦波、長月、水無月、磯波、綾波、菊月、▽梨、竹、縦、▽榎、▽榆、▽菱、▽葦、▽萩、▽蓮、驅二、▽菱、▽驅一六

【根岸沖】 鬼怒、長良

【浦賀】 阿武隈、驅六、驅八

【名古屋】 千早

【大湊】 春日

▽潛三八、▽潛三九、▽潛四〇

【小樽】 代志丸

土佐、淀、平戸、天龍、駒橋、明石、韓崎

▽追風、彌生、卯月、疾風、▽江風、▽葵、谷風、▽菊、▽時津風、天津風、磯風、▽風、▽驅一〇、▽驅四、▽榎、▽栗

▽潛二六、▽潛二五、▽潛二七、▽潛三三、▽潛四、▽潛五、▽潛六、▽潛七、▽潛八、▽潛三七、▽潛二四、▽潛三二、▽潛一九、▽潛四四、▽潛四五、▽潛五一、▽潛二三、▽潛二〇、▽潛三五、▽潛三六、▽潛三四

早柄、野間

【大阪】 扶桑

海軍公報 第三千二百七十八號

大正十二年九月二十五日

九二三

【神月】

千歲 潛六九、潛七一、潛七二
間宮、鶴見

【假屋沖】

潛七〇

【德山】

劍崎 山風、海風、櫻、檜、檜

【舞鶴】

最上、宇治、利根

【佐世保】

松風、霞、櫻、柳、檜、野分、白雪、
敷島、知床、襟裳、佐多

【長崎】

長崎

【馬公】

長崎

【鎮海】

長崎

【旅順】

長崎

【回宮海峽】

長崎

【上海】

長崎

【鎮江】

長崎

【漢口】

長崎

【長沙】

長崎

【宜昌】

長崎

【重慶】

長崎

【廈門】

長崎

【航海中】

比良 (九日宜昌發—重慶へ)

大和 (十九日横須賀發—測量地へ)

白鷺 (十九日亞港發—「サマルガ」へ)

檜 (十九日「ベ」港發—堪察加西海岸へ)

夕立 (二十日亞港發—「サマルガ」へ)

矢矧 (二十二日大阪發—品川へ)

室戸 (二十二日品川發—吳へ)

夕暮 (三日月 (二十二日亞港—間宮海峽へ)

勝利 (二十二日横須賀發—吳へ)

龍田 (二十三日佐世保發—横須賀へ)

吾妻 (二十三日神戶發—吳へ)

松江 (二十三日見發—八丈島へ)

龍戸 (二十三日神戶發—吳へ)

能登呂 (二十四日清水發—神戶へ)

出雲 (二十五日吳發—)

童 (二十五日戶田發—横須賀へ)

(部内限一頁)